



住之江区の 都市景観資源紹介

住之江区の 都市景観資源紹介

大阪市では、平成 15 年度に住之江区の都市景観資源（旧・指定景観形成物）1 件を登録するとともに、平成 23 年度に住之江区の都市景観資源の発掘のため、「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成 24 年 12 月 21 日に 10 件を都市景観資源に登録しました。また、令和 2 年 5 月 15 日に 3 件を追加登録しました。

みなとおおはし A 港大橋



- 所在地 大阪市港区海岸通 3 丁目～住之江区南港東 9 丁目 間
- 登録年月日 平成 15 年 4 月 11 日
- 概要 昭和 49 年（1974 年）に完成した最大支間長 510m のダブルデッキ形式のゲルバートラス橋で、阪神高速道路に架けられた橋の中で最も長い支間長を持ち、トラス橋としては世界第 3 位の規模を誇っている。また、橋下を 4 万トン級の大型コンテナ船が航行できるよう、海面から桁下までは 50m 以上の空間が確保されている。そのスケールや色彩、重量感から、大阪港のランドマークになっている。

やまとばし 1. 大和橋



- 所在地 大阪市住之江区安立 4 丁目～堺市
- 登録年月日 平成 24 年 12 月 21 日
- 概要 大阪市と堺市を結ぶ大和橋は、大和川の開削と共に宝永元年（1704 年）、紀州街道が川を渡るところに架けられた公儀橋であり、当時、大和川にはこの橋しかなかった。洪水のたびに修復が繰り返され、明治 18 年の大洪水によって大きな被害を受けたため、大正 5 年に大阪府の手によってはじめて鉄橋に架替えられた。現在の橋は昭和 49 年（1974 年）に架替えられ、橋長 192.00m、幅員 9.50m の斜張橋である。

じ ぞうそん ふうけい あんりゅうれんごうちょうかい きしゅうかいどう ぞ じ ぞうさま
2. 地蔵尊のある風景（安立 連合町会 のなかの 紀州街道沿いのお地蔵様）



- 所在地 大阪市住之江区安立2丁目3番、8番
- 登録年月日 平成24年12月21日
- 概要 古い町並みが残る地蔵尊の風景は住之江区の大切な景観となっている。当地の「安立」という地名は、元和年間（1615年～1623年）に、名医として名を馳せた半井安立がここに居を構えたことにちなむ。多くの人々がその治療を求めて集まり、いつしか町が形成されたといわれている。

やちょうえんりんこうりょくち
3. 野鳥園臨港緑地



- 所在地 大阪市住之江区南港北3丁目5番30号
- 登録年月日 平成24年12月21日
- 概要 日本における渡り鳥の重要な生息地であった大阪湾岸一帯に生息する野鳥の保護を目的に設置された。総面積は19.3haで、園内には、海が展望できる丘や林、干潮時に人工干潟になる西池のほか、八角形の屋根を持つ展望塔が整備されている。

すみの え こうえん
4. 住之江公園



- 所在地 大阪市住之江区南加賀屋1丁目1番
- 登録年月日 平成24年12月21日
- 概要 昭和5年（1930年）に開設された府営公園。花と緑に満ちた都会のなかのオアシスとして親しまれている。「花や緑とふれあう」「緑の中で憩う」「スポーツを楽しむ」をテーマに、自然と親しめる花と緑のスクエア、児童遊戯場、プールや球技広場が整備されている。

おおさか ご こくじんしゃ もり
5. 大阪護國神社と杜



- 所在地 大阪市住之江区南加賀屋1丁目1番77号
- 登録年月日 平成24年12月21日
- 概要 大阪護國神社は、明治維新以降の大阪府出身並びに縁故の戦没者の御霊（10万5千余柱）を祀る神社として昭和15年（1940年）に創建された。現在の社殿は、府民の熱意を結集して昭和38年（1963年）に竣工した。春秋の「例大祭」をはじめ、4月第一土曜日の「同期の桜を歌う会」やお盆の「献灯みたままつり」には、遺族・戦友や一般区民も多数参加し、盛大に開催されている。皇室の崇敬は厚く、昭和天皇・香淳皇后には昭和45年（1970年）に、今上陛下・皇后陛下（御親拝時は皇太子同妃両殿下）は昭和53年御親拝を仰いだ。約2万㎡の神域には樹木が生い茂り、閑静なたたずまいを見せる。